

# 新潟職能短大通信

地域に根ざした実践技術者の育成(2)

## ものづくりのすすめ

今から数十年前の子供時代を振り返ってみると、現在のパソコンやゲームと同様に、多くの子供達はプラモデルの製作や木を使った工作などに夢中でした。手を切り、火傷をしながらものづくりの体験をしたものです。本来、子供も大人もこうしたものづくりが大好きなはず。しかし、身の回りにはあまりにも完成されすぎた電化製品等があふれています。これではものを大事にし、自分で工夫しようという気が起きてこないのも不思議ではありません。仕事で改善を命じられてもアイデアが出てくるはずありません。日本人は、もともとモノを大事にし、身の回りの品々について創意工夫を凝らしてきました。江戸時代の「からくり人形」には与えられた時代と環境の中で一杯の工夫をしてきた様子を見ることが出来ます。

今、子供たちの理科離れがすすんでいるとい

われます。バーチャルなゲーム操作は得意ですが実際の道具は使えないという子供も増えていきます。一方、でんじろう先生。の実験教室や各地で行われる工作体験教室は大変賑わっています。理屈や原理も大切ですが、こうした実体験の積み重ねから工夫する楽しさが生まれてくるのではないのでしょうか。

当校では昨年度、「ものづくり」に親しんでもらうことを目的としてポリテクフェアを開催しました。その中の工作体験教室では、小学生低学年から中学生や大人まで楽しめるメニューを用意してたくさんの方々に楽しんでいただきました。中でも人気だったメニューの一つがロボットハンド

です。百個もの部品とネジを使って設計図どおりに組み立てることは意外と難しいものです。ネジの締め方一つでハンドの開閉具合が微妙に違ってきます。親子連れで挑戦すること四十分、完成したロボットハンドを手に誇らしげに披露している姿が印象的でした。また、フリフリカードも人気がありました。一列に十六個のLEDを並べた基板を組み立て、手で左右に振ると空中に連続した文字を描くことができます。プログラムを変更すれば別の文字を表示します。



ハンテたハ立供ト組み子ットみるポとす口ドをち

には、徹底的な基礎訓練を基に人とは違う流儀とさまざまな場面に対応できる応用力を身につけなければなりません。しかも四日間にも及ぶ長い孤独な闘いを制するためには技だけでなく強靱な体力と精神力が求められます。昨年、静岡で行われた技能五輪国際大会で日本は十六個もの金メダルを獲得し世界一の座に返り咲きました。今、日本を代表する製造業の多くは、生き残りをかけてこうした技能を持つ技術者の育成に再び力を入れはじめました。

今年七月二十六日(土)にポリテクフェアを開催します。工作教室のほか技能五輪国際大会の機械加工分野で金メダルを獲得した日立製作所の選手二名を交えて、「ものづくりへのこだわり」と題してパネルディスカッションを行います。技能五輪で優勝するため

には、徹底的な基礎訓練を基に人とは違う流儀とさまざまな場面に対応できる応用力を身につけなければなりません。しかも四日間にも及ぶ長い孤独な闘いを制するためには技だけでなく強靱な体力と精神力が求められます。昨年、静岡で行われた技能五輪国際大会で日本は十六個もの金メダルを獲得し世界一の座に返り咲きました。今、日本を代表する製造業の多くは、生き残りをかけてこうした技能を持つ技術者の育成に再び力を入れはじめました。



フリフリカードと文字の表示



組立て作品  
機械優勝(日本)



奮闘するドイツチーム  
メカトロニクスで

新潟職業能力開発短期大学校では、こうした技術・技能も取り入れながら地域に根ざした実践技術者の育成を行ってまいります。

新潟職業能力開発短期大学校校長 平塚剛一